

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

#### 安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

#### 一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

#### <施工の前に>



注意

- 設置場所の確認をしてください。
  - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
  - ・施工場所の気象条件（風、雪など）に合った商品かどうか確認してください。
  - ・建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
  - ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
  - ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
- 給排水管などの地下埋設物に影響を与えないでください。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。



ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

## <施工上のご注意>

### ⚠ 注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 壁樋の端末以降の排水については、当社供給範囲外になっていきますので、施工店様または施主様で手配してください。
- 風当たりの強い場所では、ヤードの周囲を囲わないようにしてください。風が抜けなくなり破損のおそれがあります。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 指定の箇所にシーリングをしてください。
- シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン	トスシール380
東レ・ダウコーニング	SE960

### 🔑ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

## <基礎工事についてのご注意>

### ⚠ 注意


- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず栗石を敷いてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

### 🔑ポイント

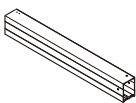
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

## ■梱包明細表


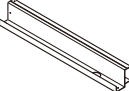
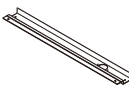

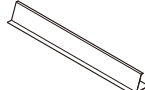




### [1] 柱セット

略 図	名 称	員 数
	柱	2

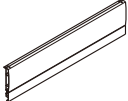
### [2] 桁セット

名 称	略 図	員 数
桁		1

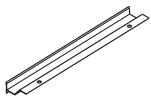
【3】側枠・雨樋セット

名 称	略 図	員 数							
		単独上	単独下	右端部上	右端部下	左端部上	左端部下	連棟上	連棟下
側枠		1	1	1	1	1	1	1	1
雨樋上		1	-	1	-	1	-	1	-
雨樋下		-	1	-	1	-	1	-	1
側枠上補強材		7	-	6	-	6	-	5	-
側枠下補強材		-	1	-	1	-	1	-	1
アタッチメントパッキン		2	-	-	-	-	-	3	-
穴ふさぎ		2	-	-	-	-	-	3	-
【3-1】φ5×14ナベタッピンネジ3種(予備ネジ含)		17	17	14	14	14	14	10	10
【3-2】φ4×10トラスタッピンネジ3種		4	-	-	-	-	-	6	-

【4】前枠・横樋セット

名 称	略 図	員 数
前枠		2





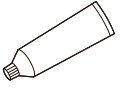



【4】前枠・横樋セット (つづき)

名 称	略 図	員 数
横樋		2

【5】縦樋セット




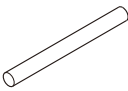



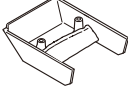
名 称	略 図	員数
縦樋		2
アタッチメント		2
アタッチメントパッキン		2
エルボ		2
ドレンエルボ		2
丸樋1		2

【5】縦樋セット (つづき)

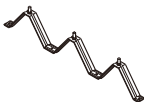



名 称	略 図	員数
丸樋2		2
直線ジョイナー		2
サドル		4
サドル受け		4
接着材		1
【5-1】φ4×10トラスタッピンネジ3種		4
【5-2】φ4×13ドリルネジ		8
【5-3】φ4×25ドリルネジ		8

## ■ 梱包明細表












【6】 部品セット

名 称	略 図	員 数	
		基本	連棟
桁スリーブ		-	2
側枠連結材		-	2
雨樋連結材		-	2
アンカー棒		4	2
桁キャップ		4	-
端部キャップR		2	-
端部キャップL		2	-
柱キャップ		8	4






【7】 タイトフレーム

名 称	略 図	員 数		
		単独	基本	連棟
タイトフレーム (中間用)		12	22	10
タイトフレーム (エンド用)		4	4	-
止水クッション材 (中間用)		12	22	10
止水クッション材 (端部用)		4	4	-

【6】 部品セット (つづき)

名 称	略 図	員 数	
		基本	連棟
柱金具		4	2
柱金具裏板		8	4
【6-1】 φ5×14ナベタッピン ネジ3種 (予備ネジ含)		51	34
【6-2】 M5×35ナベ小ネジ		16	8
【6-3】 M4×10トラス小ネジ		20	-
【6-4】 M8×20 座金組込六角ボルト		16	8
【6-5】 M10ナット		16	8
【6-6】 M10平座金		16	8
【6-7】 M10バネ座金		16	8
【6-8】 M10×25座金組込 六角ボルト		-	12
【6-9】 M5バネ座金		16	8
取付説明書 (E253)	-	1	-
取扱説明書 (UE023)	-	1	-

【7】 タイトフレーム (つづき)

名 称	略 図	員 数		
		単独	基本	連棟
ルーフボルトキャップ		44	74	30
折板固定用ナット		44	74	30
折板固定用笠ワッシャー		44	74	30
折板固定用パッキン		44	74	30
【7-1】 φ5×14ナベ タッピンネジ3種 (予備ネジ含)		61	104	43

※シーリング材/コーキング材は付属していません。  
P.2表の物を別途ご用意ください。

# 1. 基本寸法図

## 1-1 单独仕様

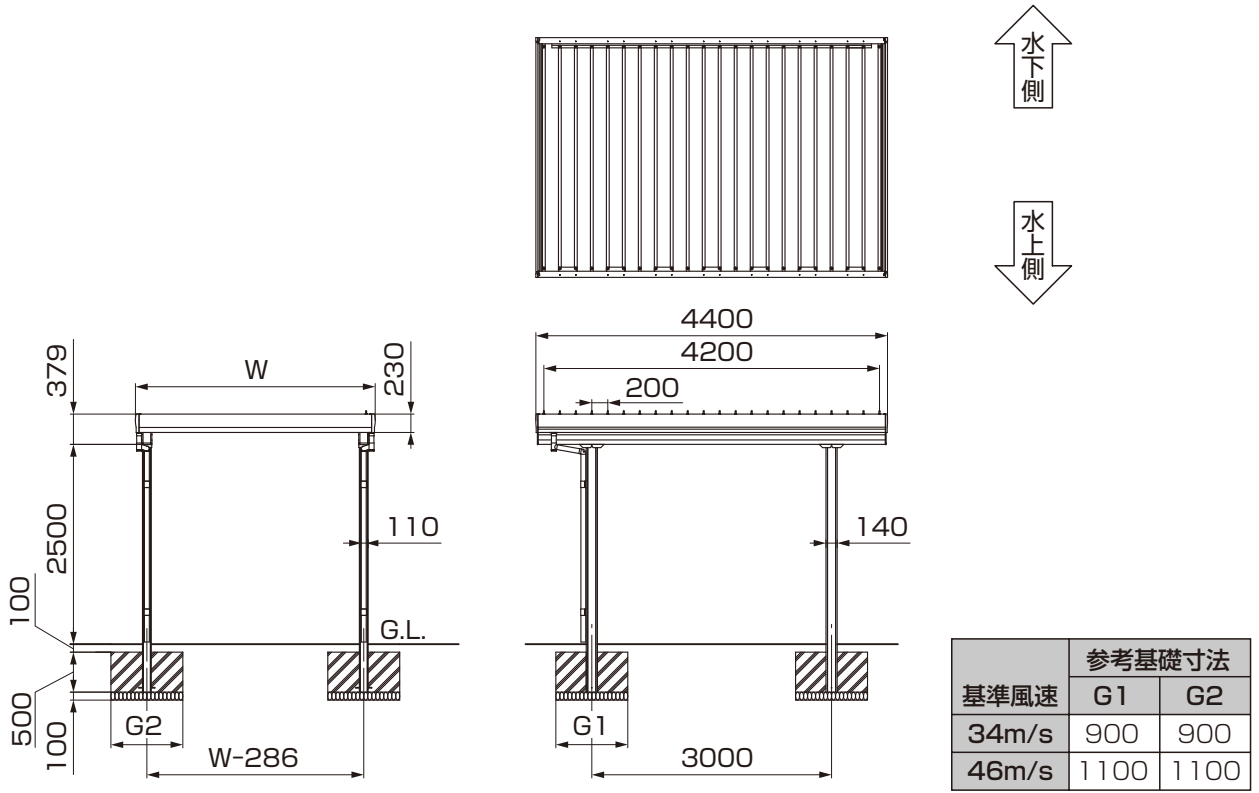


図1-1

## 1-2 基本仕様

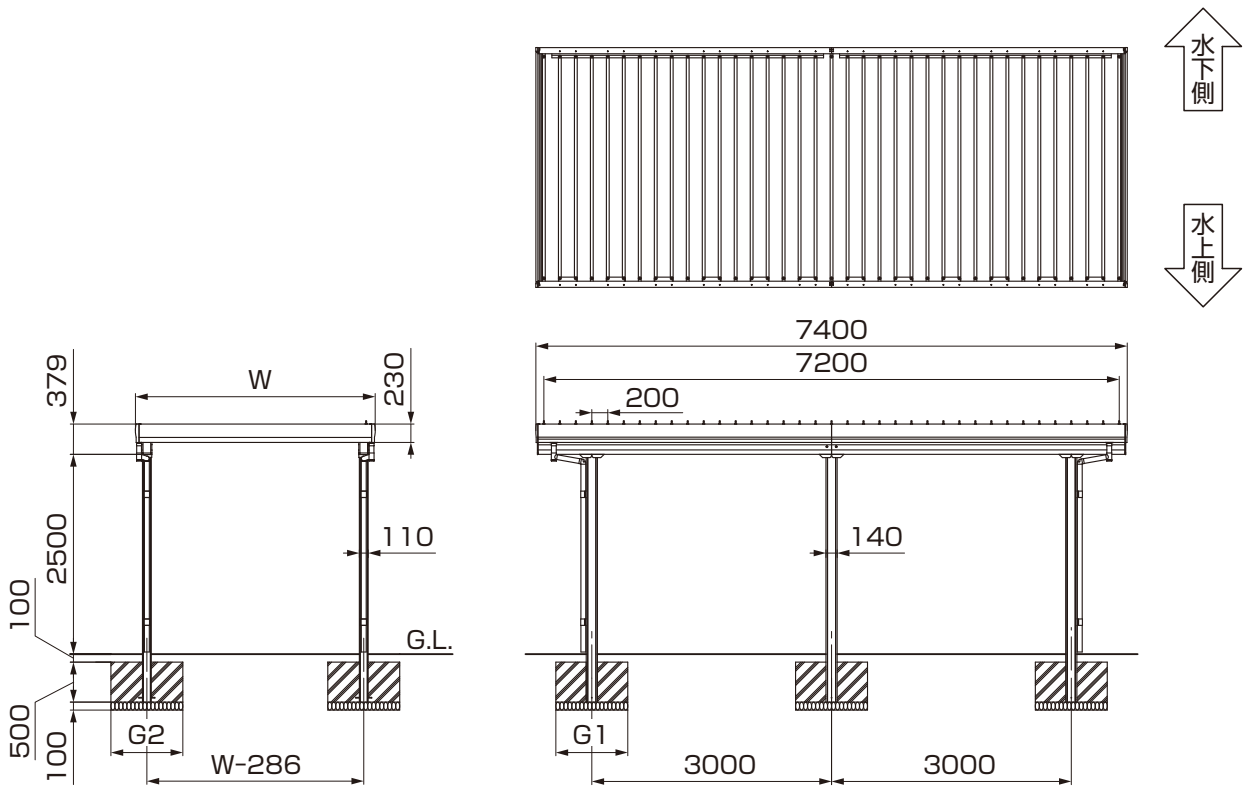


図1-2

# 1. (つづき)

## 1-3 連棟仕様

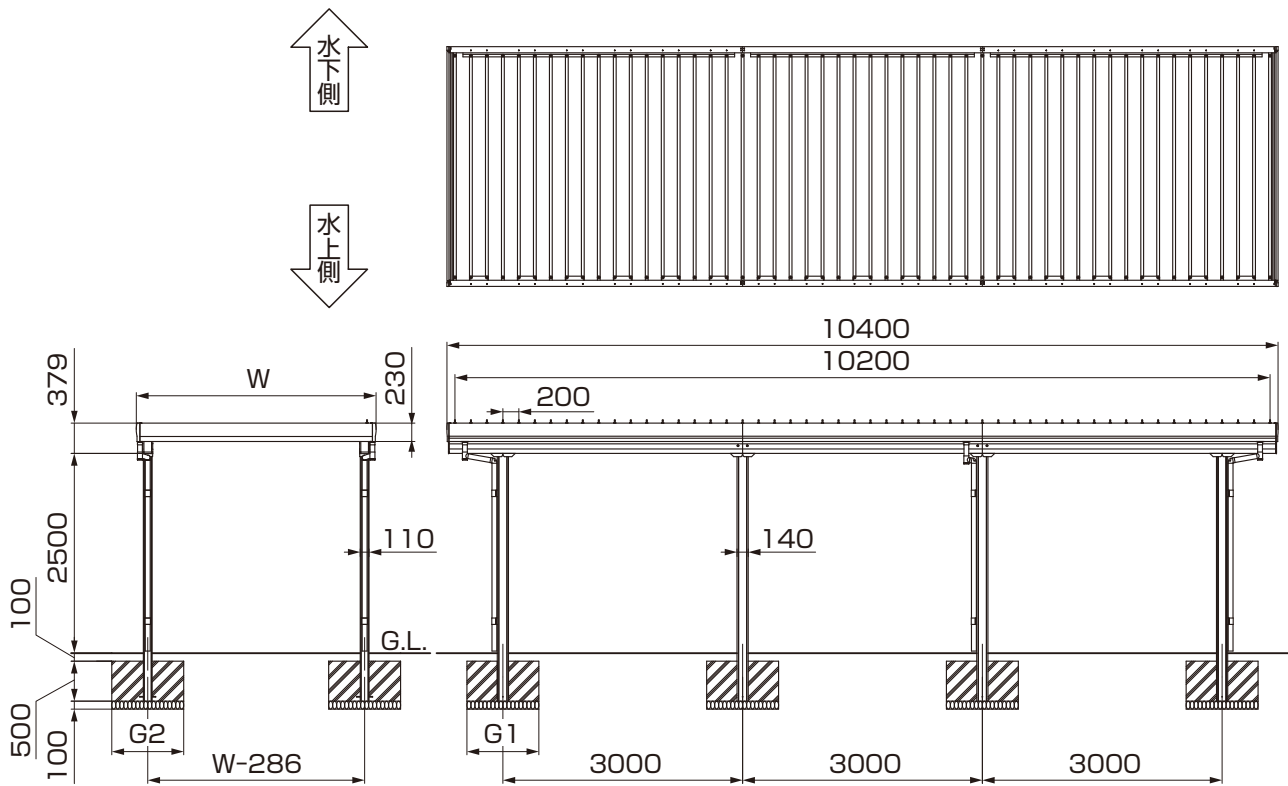


図1-3

基準風速	参考基礎寸法	
	G1	G2
34m/s	900	900
46m/s	1100	1100

## 1-4 正面断面図 ※図はW3000の場合です。

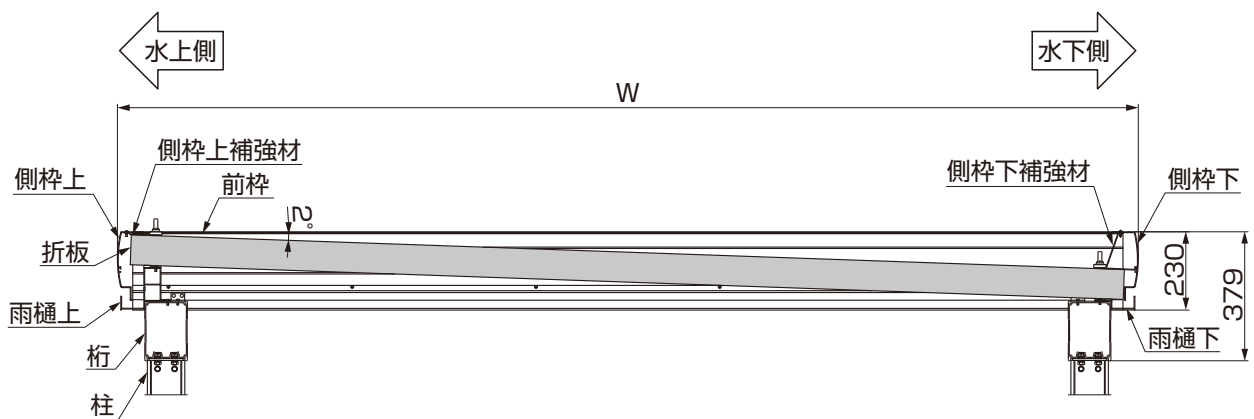


図1-4

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

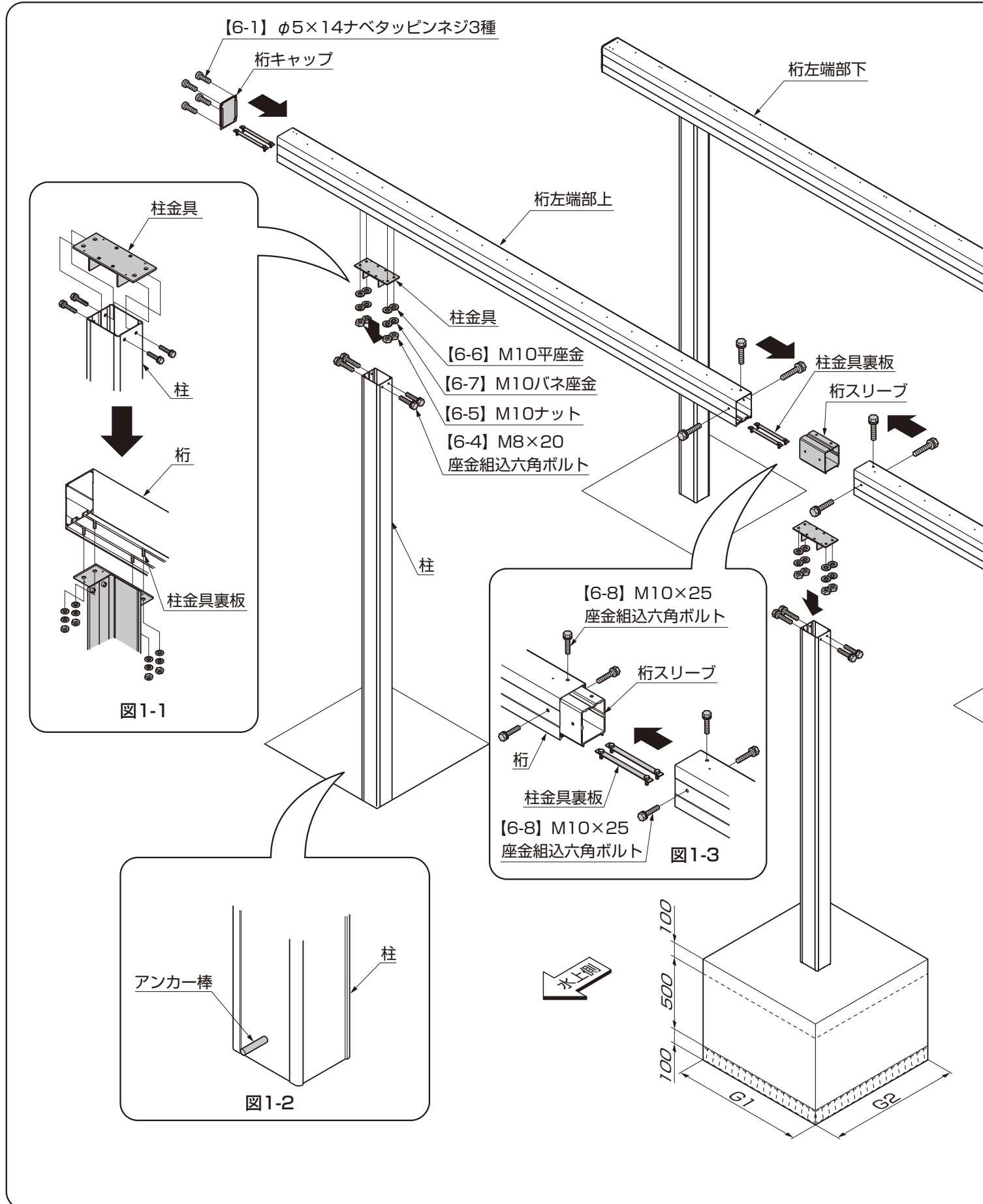
.....

.....

.....

.....

## 2. 柱、桁の取付け





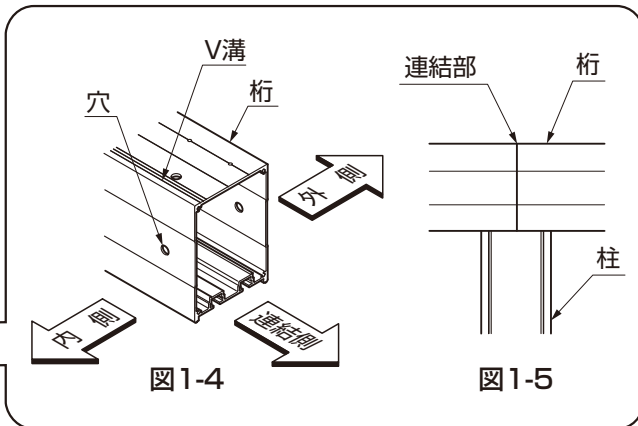


図1-4

図1-5

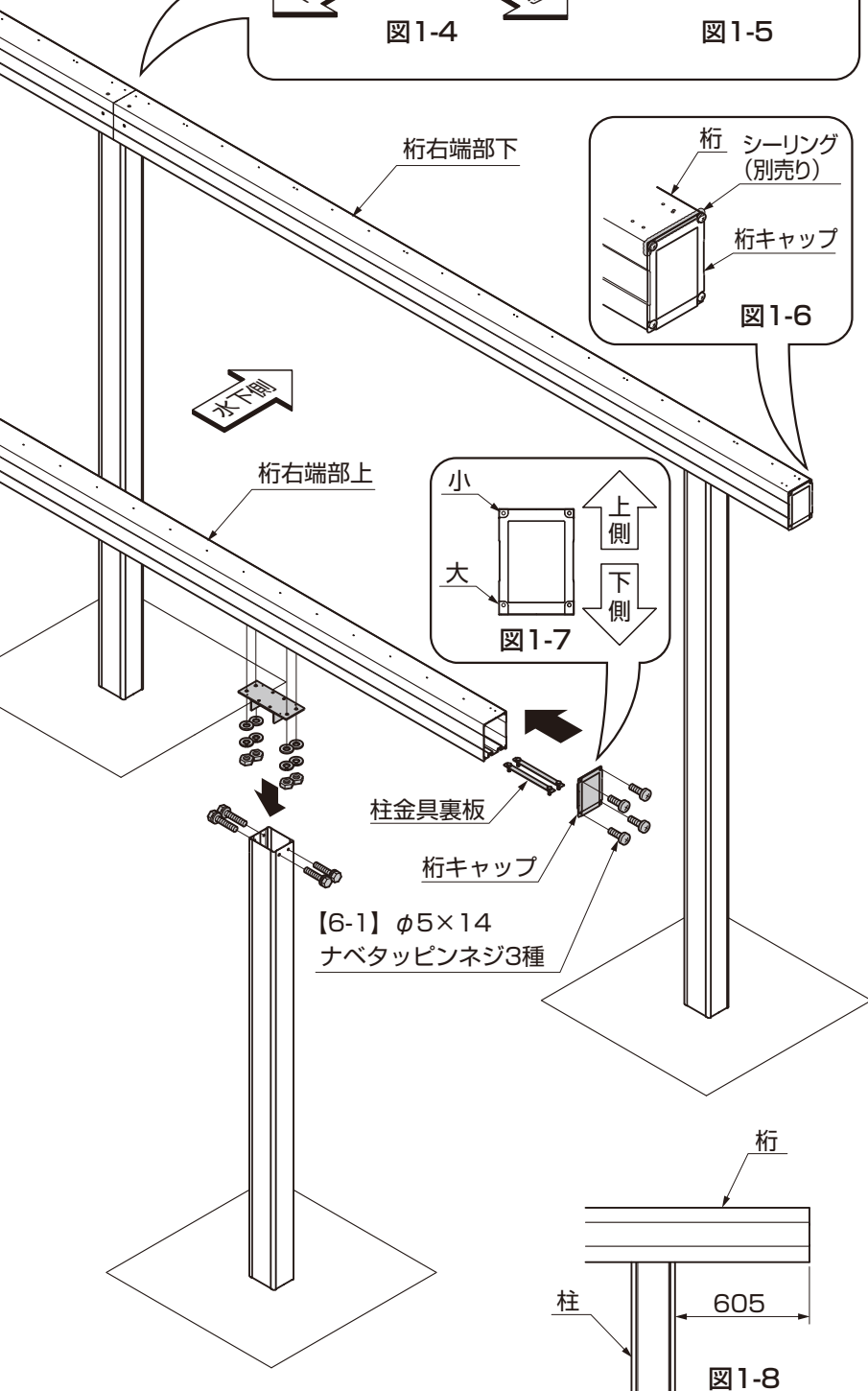


図1-6

図1-7

図1-8

【6-1】φ5×14  
ナベタッピンネジ3種

### 補足

- 基礎は長期地耐力 $50\text{KN/m}^2$ の時の参考寸法です。

### ポイント

- 桁はV溝が3本ある側が内側です。(図1-4参照)
- 桁キャップには上下があります。取付部の大きい方が下側です。(図1-7参照)
- 桁端部～柱寸法は605mmです。(図1-8参照)
- 単独には、桁側面に穴がありません。

## 1. 単独の場合

- ①柱金具を柱に【6-4】で取付けてください。(図1-1参照)
- ②アンカー棒を柱に差込み、柱を建込んでください。(図1-2参照)
- ③柱金具裏板を桁にスライドさせてください。
- ④スライドさせた柱金具裏板と柱を【6-5】、【6-6】、【6-7】で取付けてください。(図1-1参照)
- ⑤桁キャップを【6-1】で取付けてください。

### ポイント

- 桁と桁キャップのすき間にシーリングをしてください。(図1-6参照)

## 2. 基本・連棟の場合

### ポイント

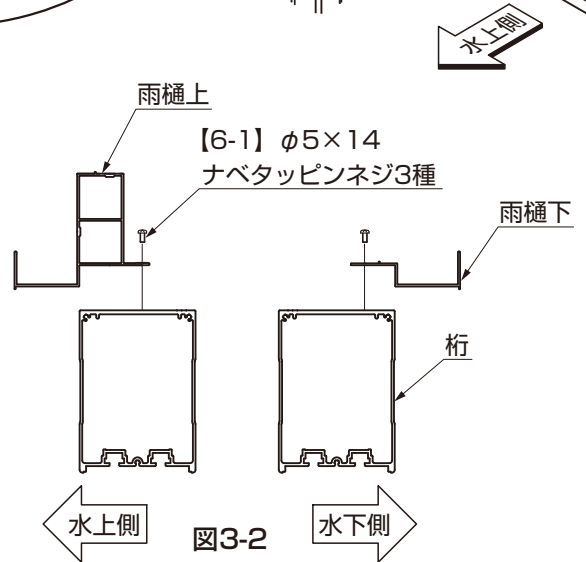
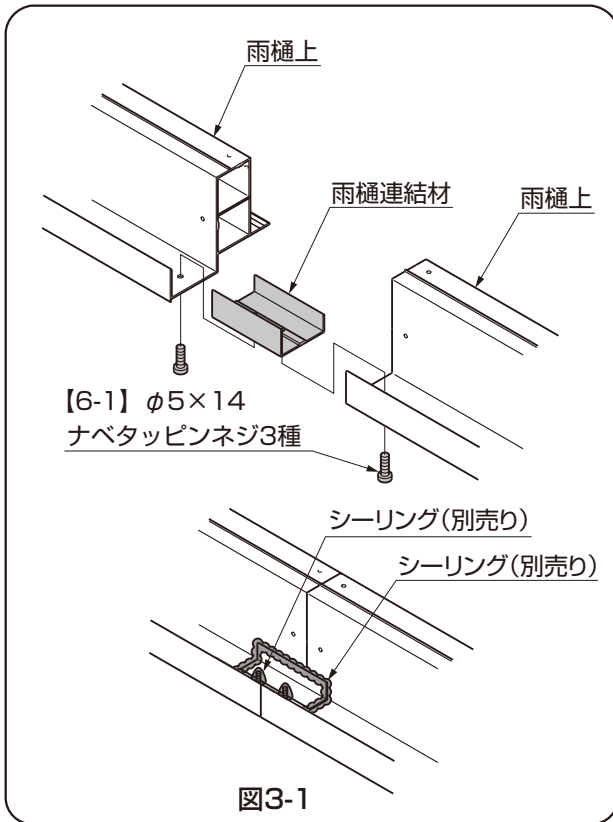
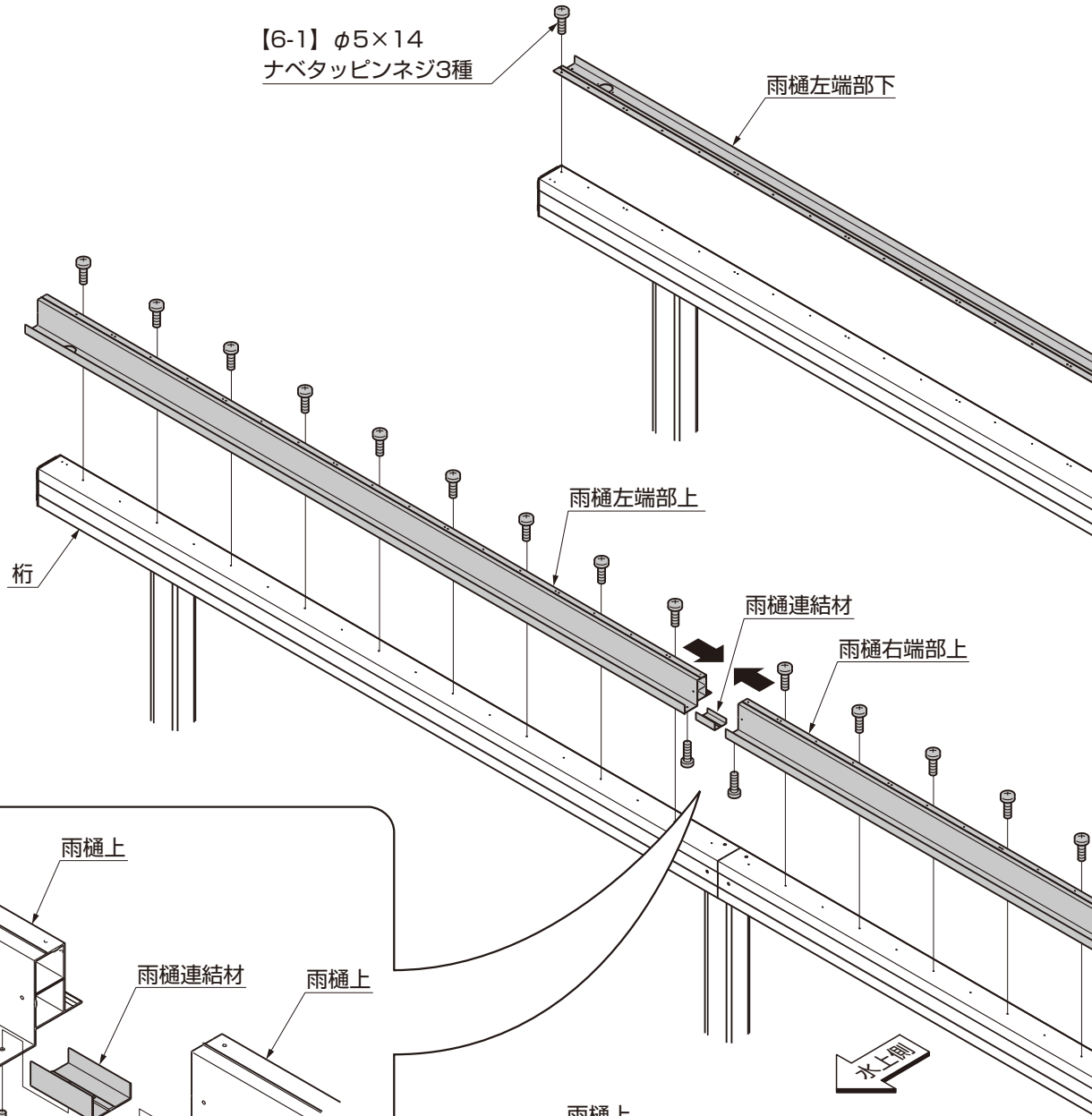
- 桁の側面に穴があいているほうが連結側です。(図1-4参照)
- 連結部が柱中心になります。(図1-5参照)

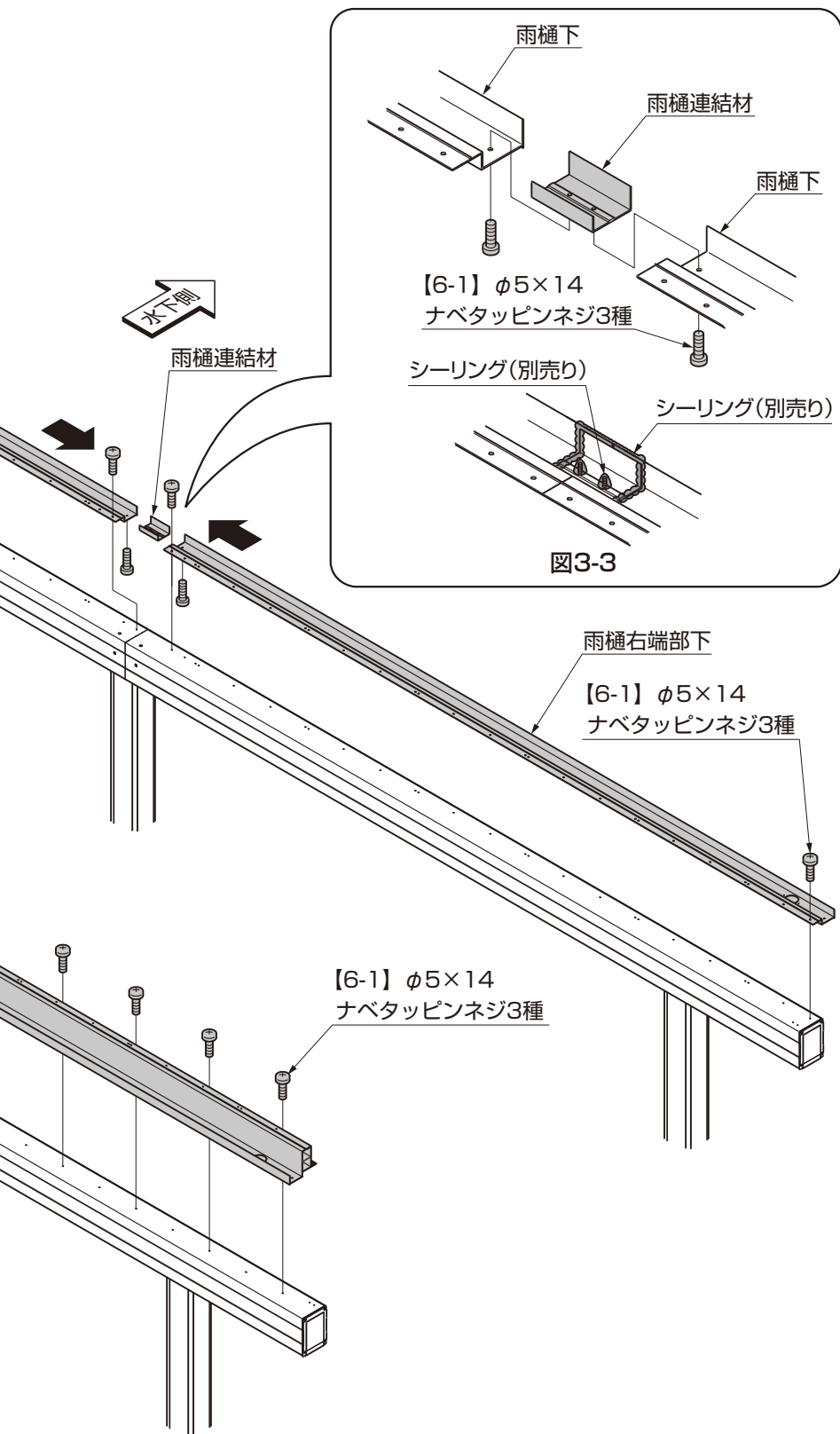
- ①柱金具を柱に【6-4】で取付けてください。(図1-1参照)
- ②アンカー棒を柱に差込み、柱を建込んでください。(図1-2参照)
- ③片方の桁に柱金具裏板と桁スリーブをスライドさせ、桁スリーブを【6-8】で仮固定してください。(図1-3参照)
- ④もう一方の桁を桁スリーブと柱金具裏板に差込み【6-8】で固定してください。
- ⑤スライドさせた柱金具裏板と柱を【6-5】、【6-6】、【6-7】で取付けてください。
- ⑥桁キャップを【6-1】で取付けてください。

### ポイント

- 桁と桁キャップのすき間にシーリングをしてください。(図1-6参照)

### 3. 雨樋の取付け





## 1. 単独の場合

- ① 雨樋上を桁に【6-1】で取付けてください。(図3-2参照)
- ② 雨樋下を桁に【6-1】で取付けてください。(図3-2参照)

### ポイント

- 雨樋下は両端のみ桁にネジ止めしてください。両端以外はタイトフレームと一緒に取付けます。

## 2. 基本・連棟の場合

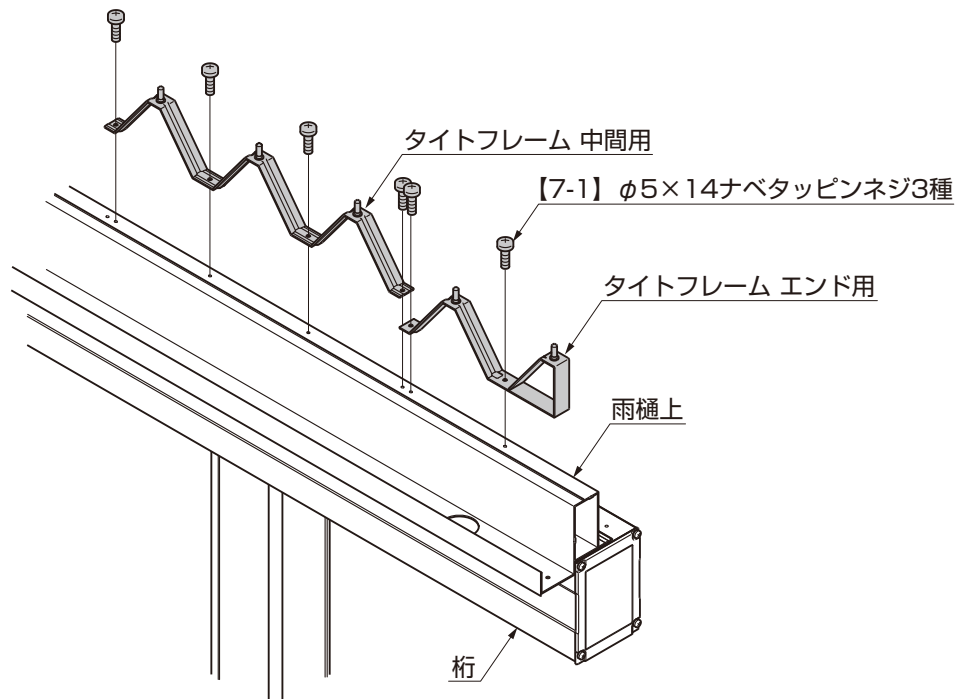
- ① 雨樋上を桁に【6-1】で取付けてください。(図3-2参照)
- ② 雨樋下を桁に【6-1】で取付けてください。(図3-2参照)

### ポイント

- 雨樋下は両端のみ桁にネジ止めしてください。両端以外はタイトフレームと一緒に取付けます。
- 雨樋連結材と雨樋上下から飛び出しているネジの周囲にシーリングしてください。(図3-1、図3-3参照)

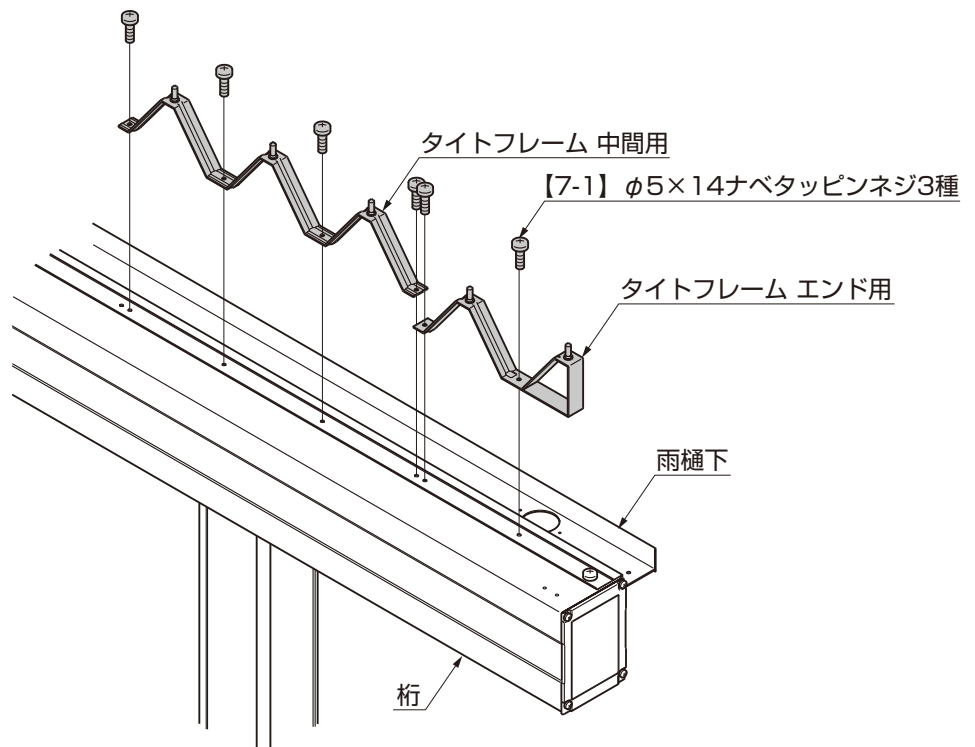
## 4. タイトフレームの取付け

### 4-1 水上側の取付け



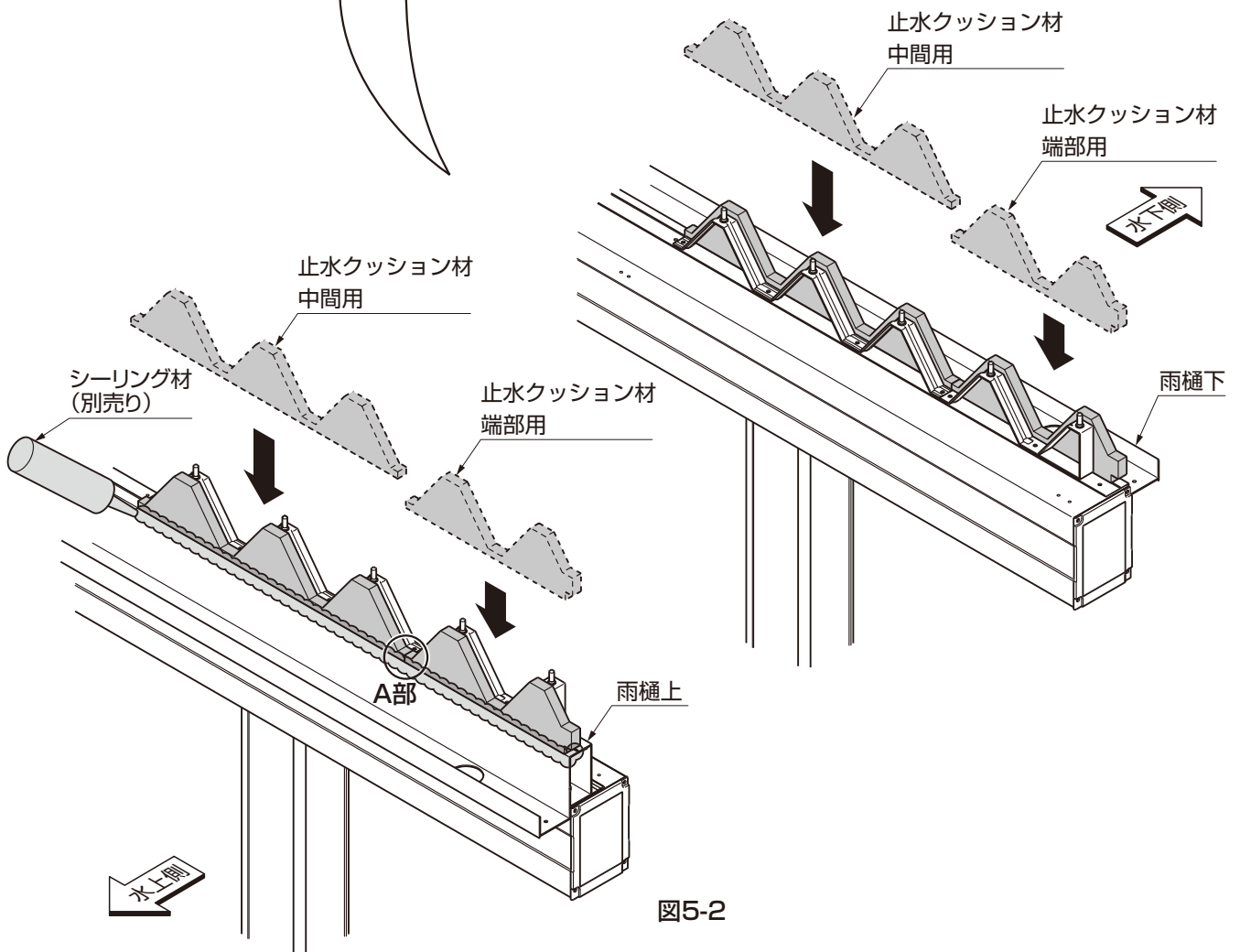
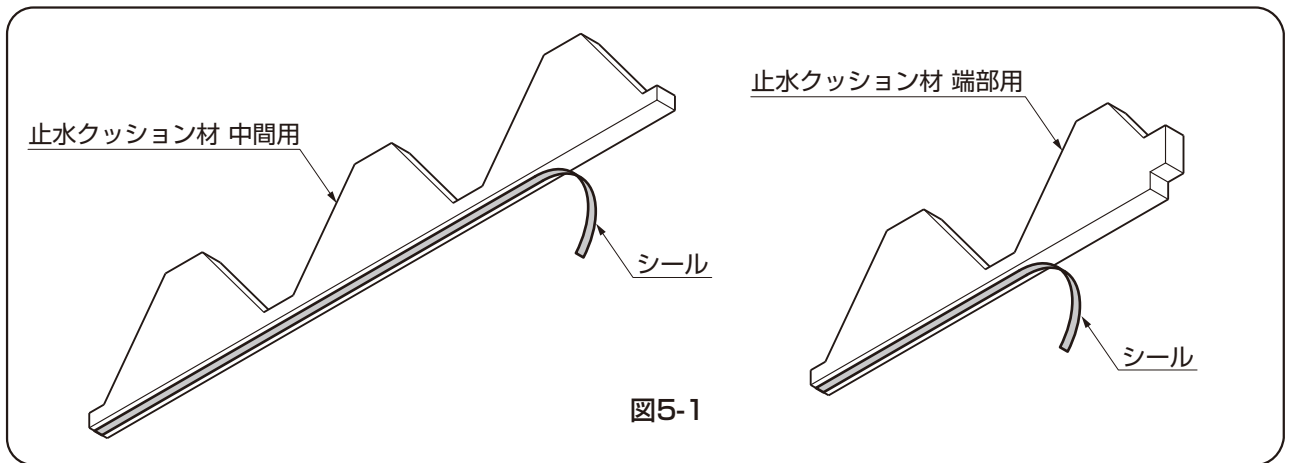
①タイトフレーム エンド用、タイトフレーム 中間用を雨樋上に【7-1】で取付けてください。

### 4-2 水下側の取付け



①タイトフレーム エンド用、タイトフレーム 中間用を雨樋下に【7-1】で取付けてください。

## 5. クッション材の取付け



①タイトフレームの外側に端部用と中間用の止水クッション材をそれぞれ貼付けてください。(図5-2参照)

### 補足

●止水クッション材下面のシールをはがしてから取付けてください。(図5-1参照)

②止水クッション材同士の合わせ目(A部)にシーリングをしてください。

③止水クッション材と雨樋の合わせ目にシーリングをしてください。

## 6. 前枠・横樋の取付け

### 6-1 前枠、端部キャップの取付け

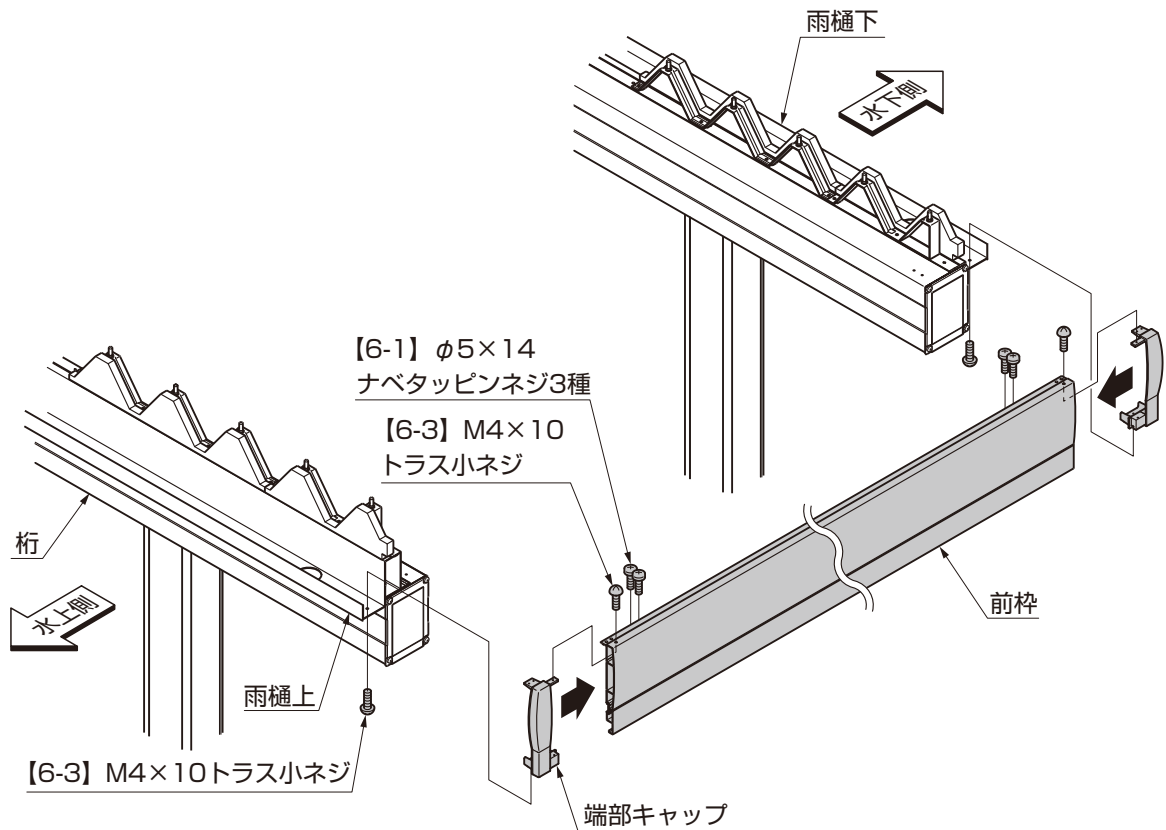


図6-1

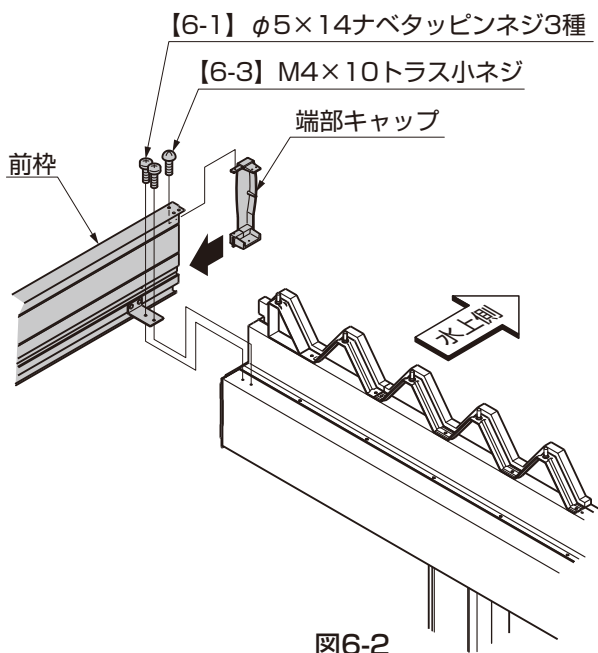


図6-2

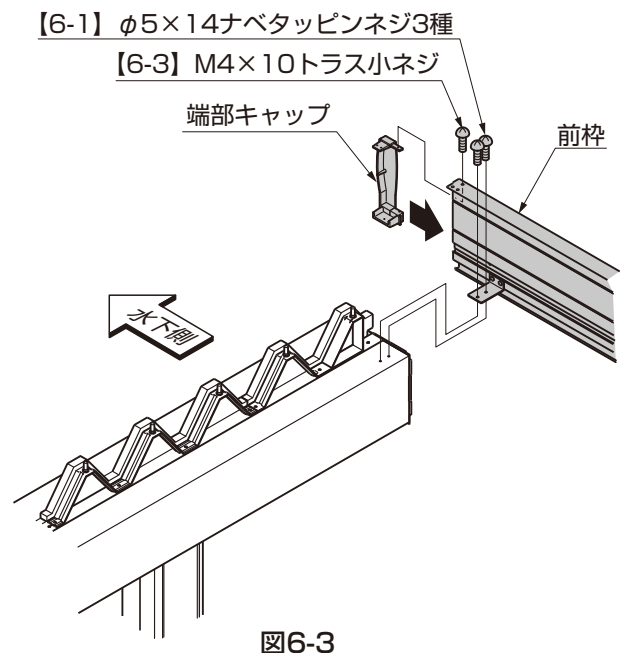
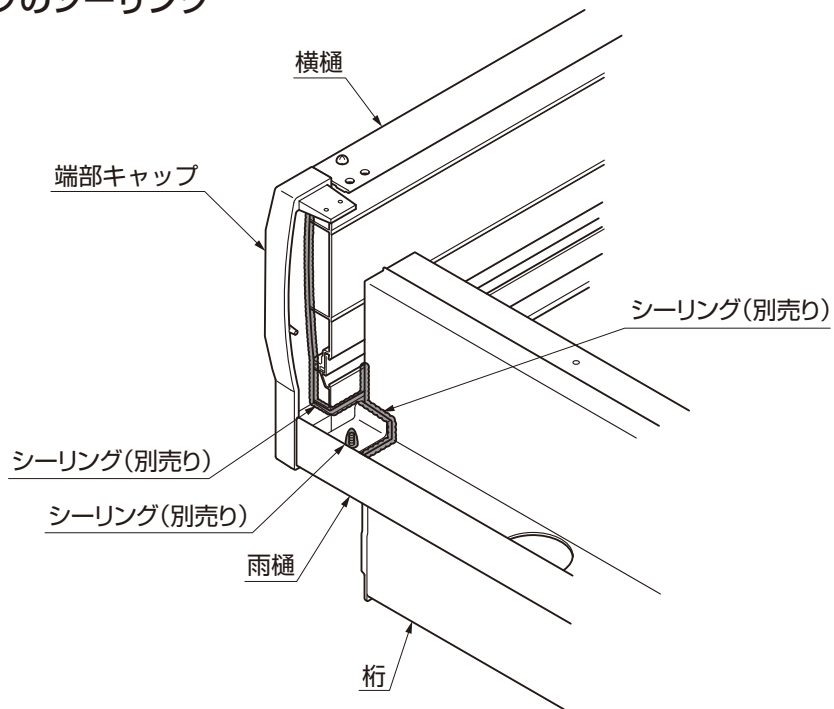


図6-3

- ① 端部キャップを前枠に【6-3】で取付けてください。
- ② 前枠を桁に【6-1】で取付けてください。
- ③ 端部キャップを雨樋上、雨樋下に【6-3】で固定してください。

## 6-2 端部キャップのシーリング



①端部キャップの前枠、雨樋上、雨樋下の接合部をシーリングしてください。

## 6-3 横樋の取付け

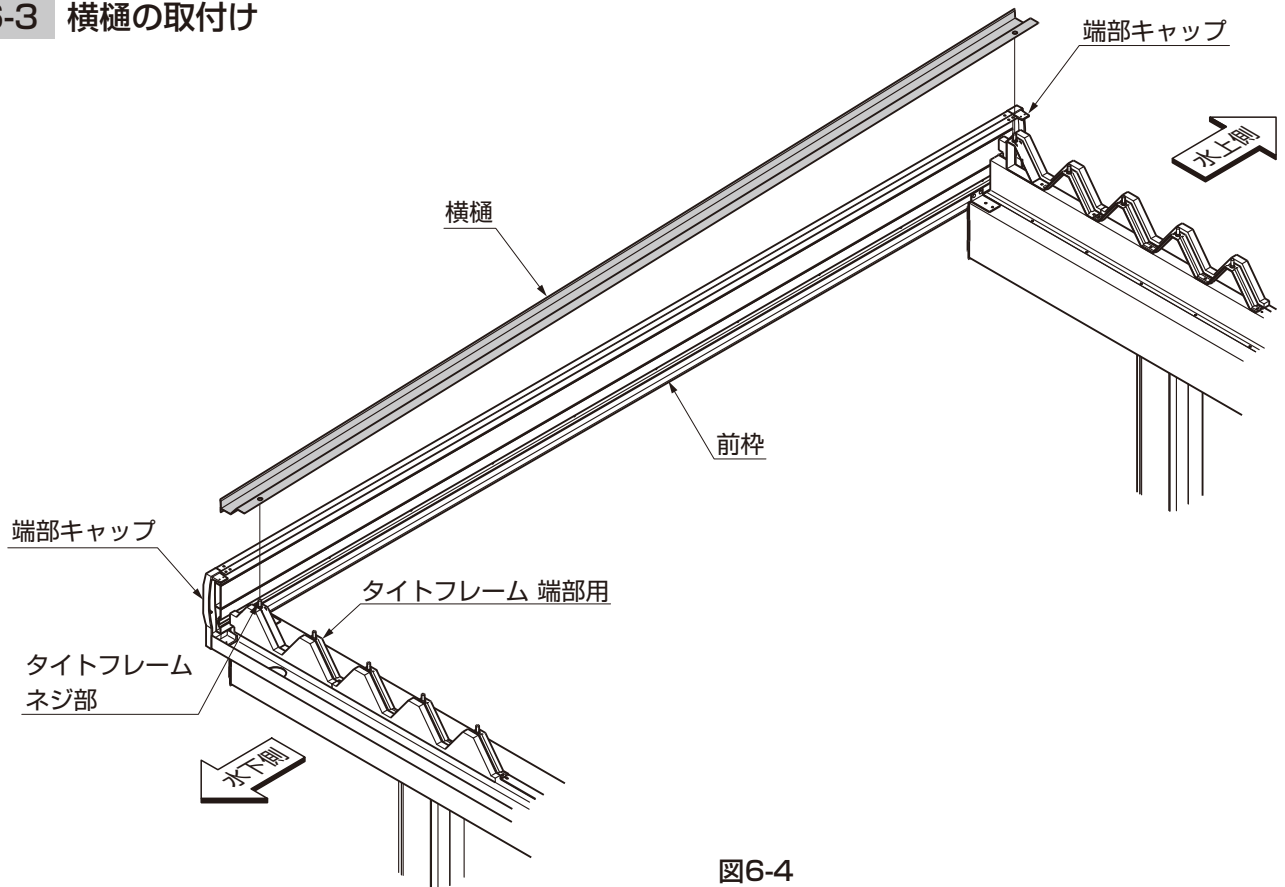


図6-4

①横樋をタイトフレーム端部用についているネジに差込んでください。

## 7. 折板の取付け

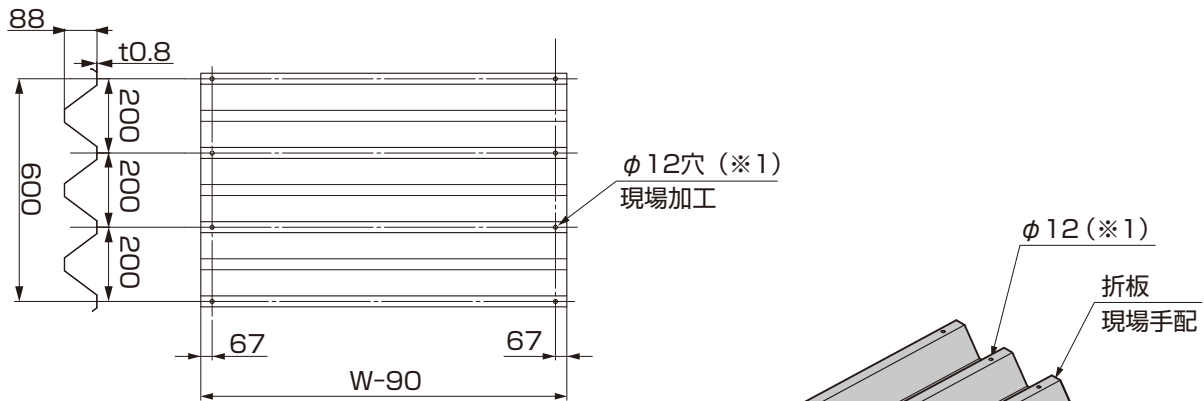


図7-1

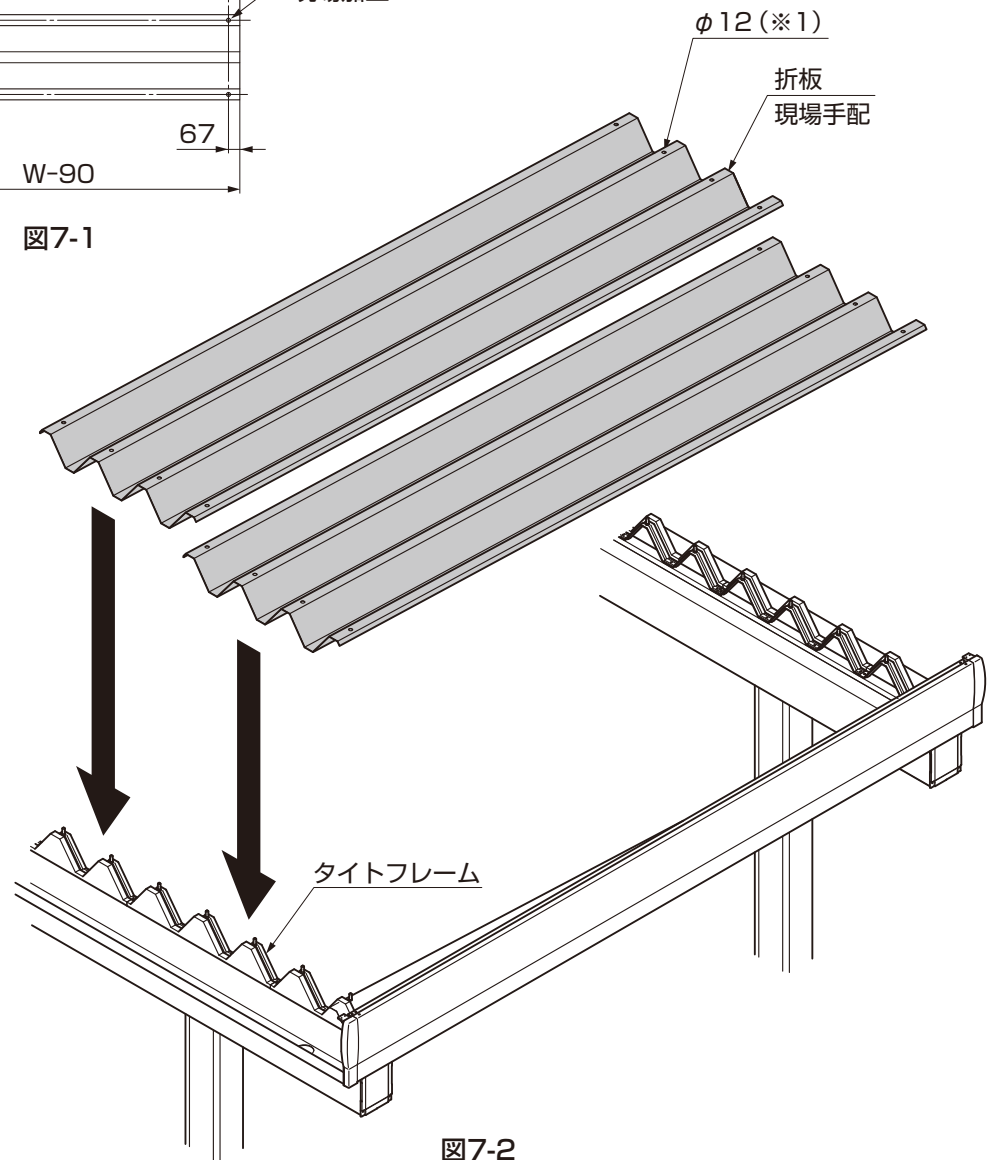


図7-2

### ⚠ 注意

●折板の端部は鋭利です。取扱いには十分にご注意ください。

- ①折板にφ12の穴(※1)をあけてください。
- ②折板をタイトフレームにはめ込んでください。

### 🔑 ポイント

- 幅600、山高88、山ピッチ200、厚み0.8の折板を現場で手配してください。
- 折板の穴加工時の切粉は完全に取除いてください。サビの原因になります。



## 8. 側枠補強材の取付け

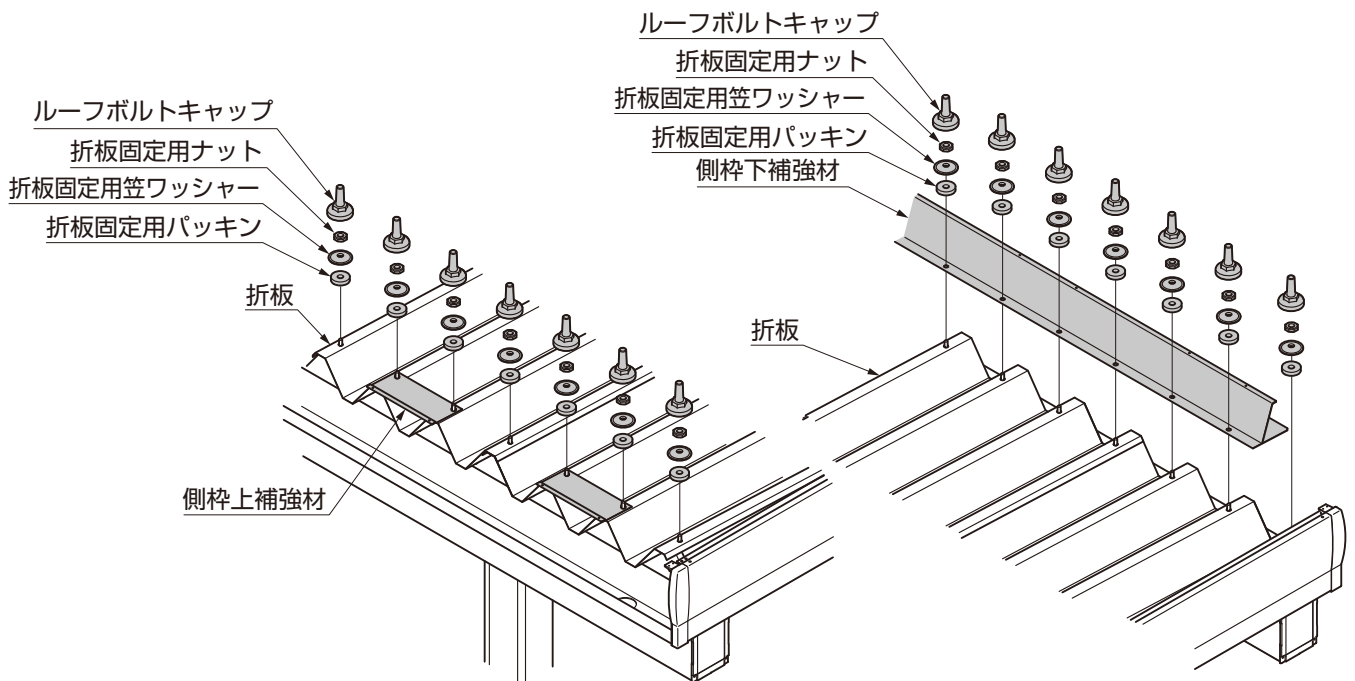


図8-1 水上側の取付け

図8-2 水下側の取付け

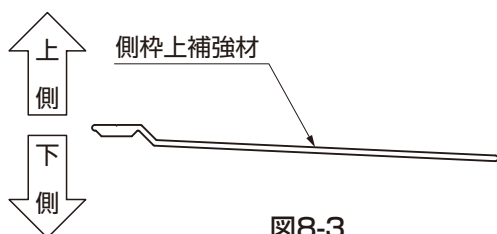


図8-3

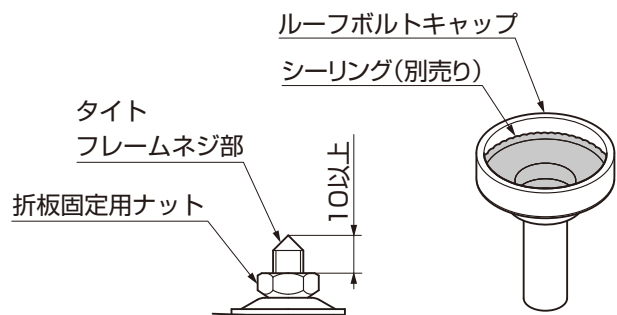


図8-4

図8-5

①側枠補強材を折板にはめ込み、折板固定用ナット、折板固定用笠ワッシャー、折板固定用パッキンで取付けてください。

### ポイント

- 側枠上補強材には、上下があります。(図8-3参照)
- 連結部に補強材を取付けしないでください。
- 側枠上補強材、側枠下補強材は折板の両端には取付けしないでください。(図8-1、図8-2参照)
- 側枠上補強材は1山ごと間隔をあけて取付けてください。(図8-1参照)

②側枠補強材を取付けていない箇所の折板を、折板固定用ナット、折板固定用笠ワッシャー、折板固定用パッキンで取付けてください。

### ポイント

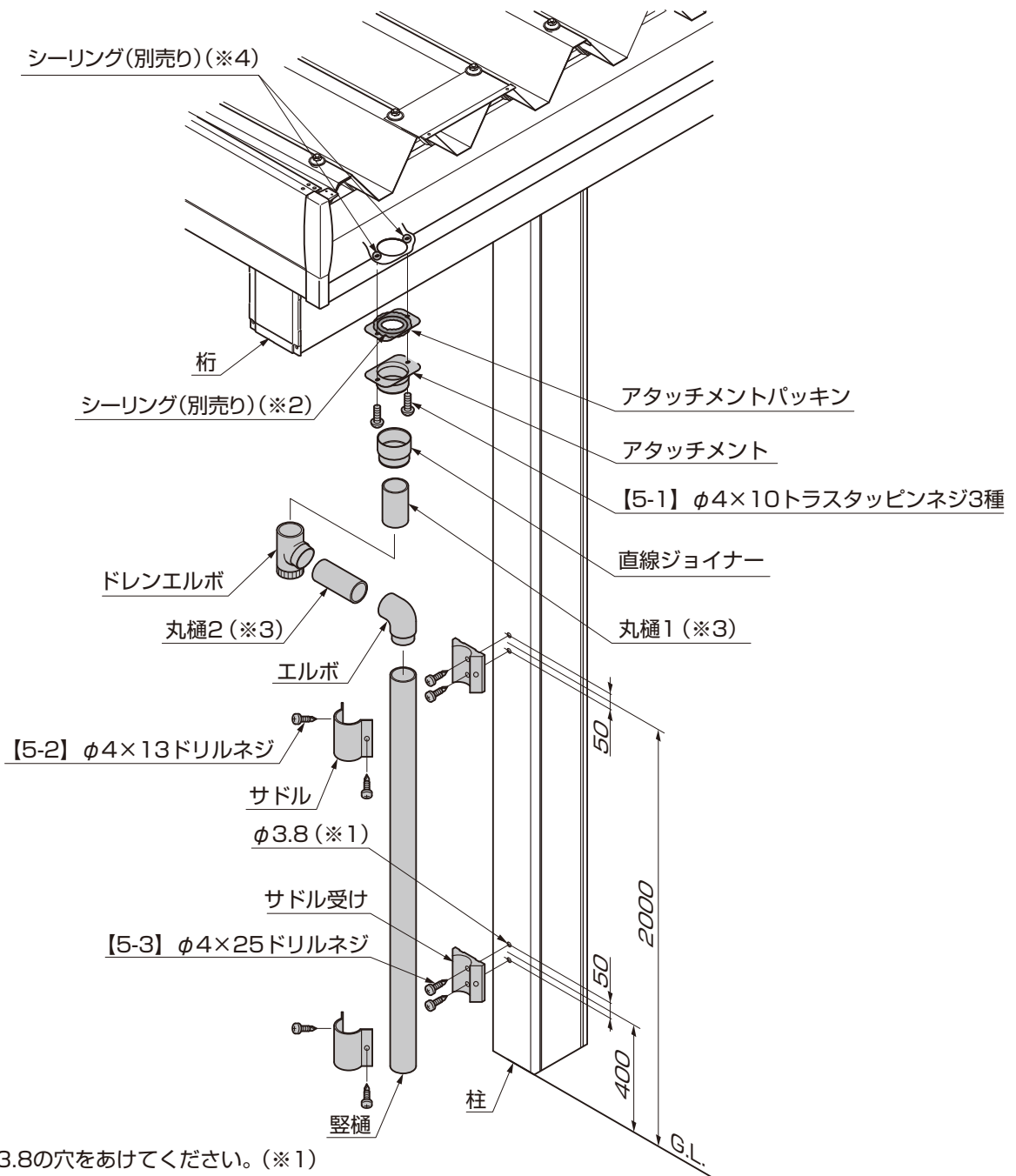
- 折板固定用ナットはタイトフレームのネジ部が10mm以上出るまで締め込んでください。(図8-4参照)

③ルーフトボルトキャップにシーリングしてから取付けてください。(図8-5参照)

### ポイント

- ルーフトボルトキャップは回して取付けてください。
- ルーフトボルトキャップに塗布するシーリング材は、樹脂適用のシーリング材を使用してください。

## 9. 縦樋の取付け



- ①柱にφ3.8の穴をあけてください。(※1)
- ②サドル受けを柱に【5-3】で取付けてください。
- ③アタッチメントパッキンの穴の周囲にシーリング(※2)をして、アタッチメントを雨樋上及び雨樋下に【5-1】で取付けてください。
- ④各部品を接合してください。その際、接合部は接着剤で固定してください。
- ⑤サドルをサドル受けに【5-2】で取付けてください。

### ポイント

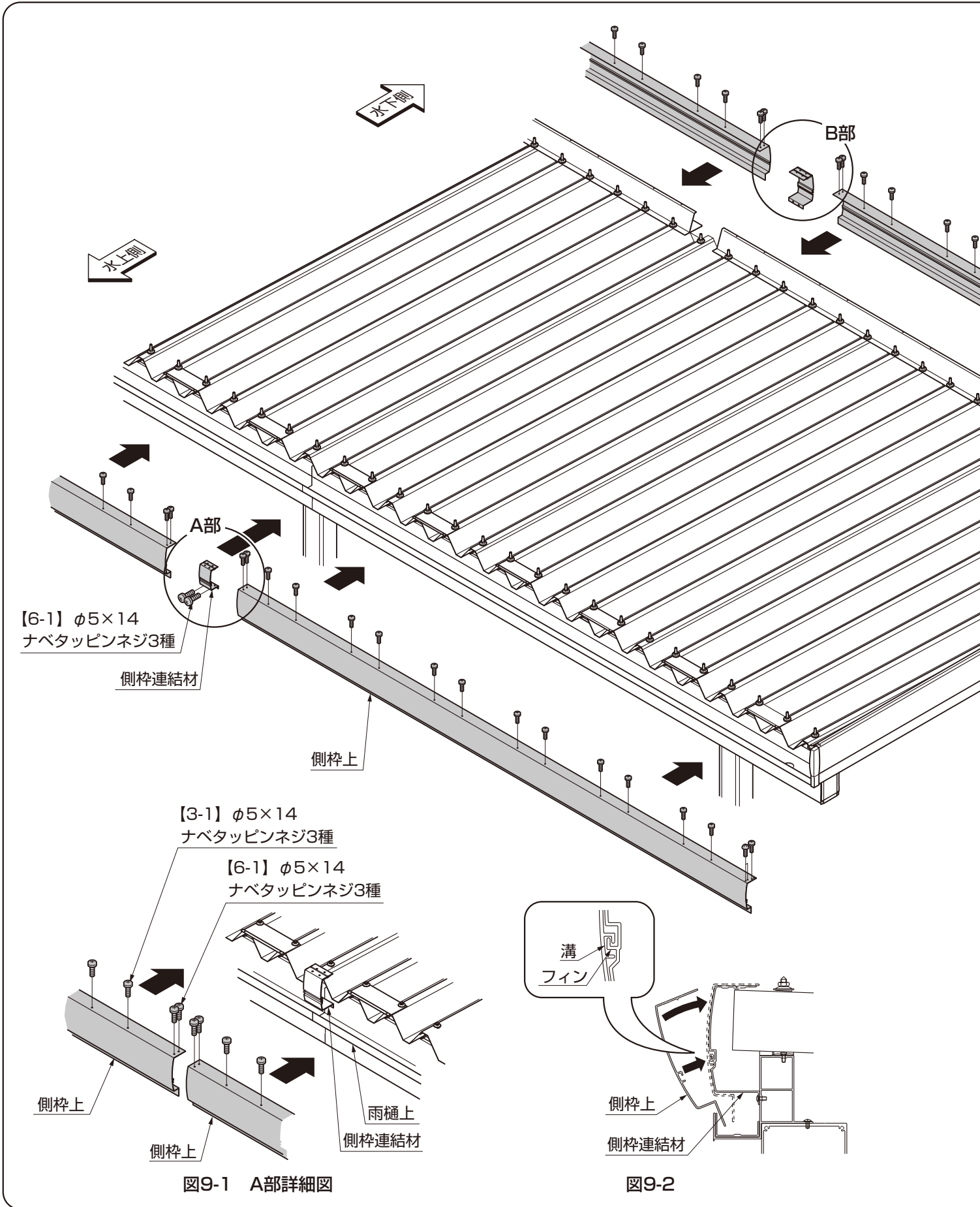
- 丸樋は現場にあわせて切断してください。(※3)

### 補足

- アタッチメントを取付後、雨樋部から飛び出しているネジの周囲にシーリングをしてください。(※4)
- 十分にシーリングをしないと雨漏りの原因になります。



# 11. 側枠の取付け



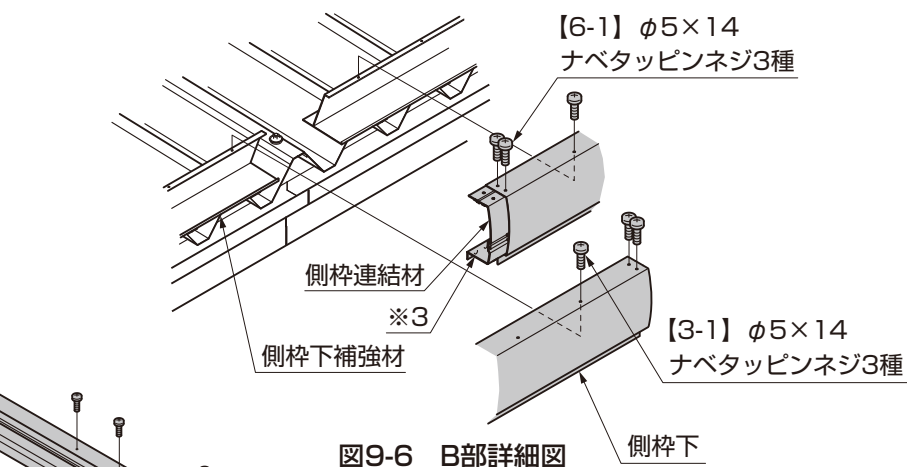


図9-6 B部詳細図

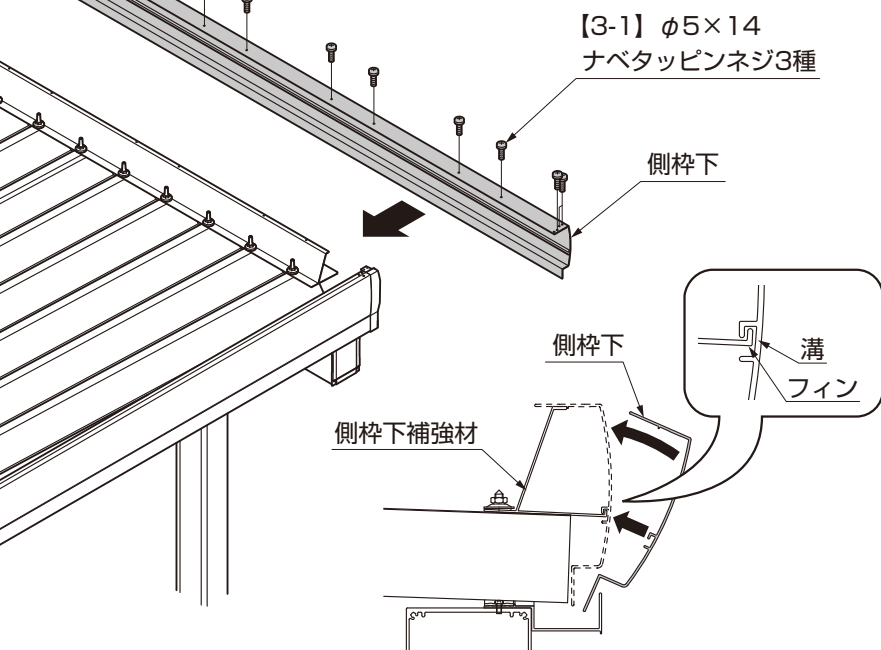


図9-5

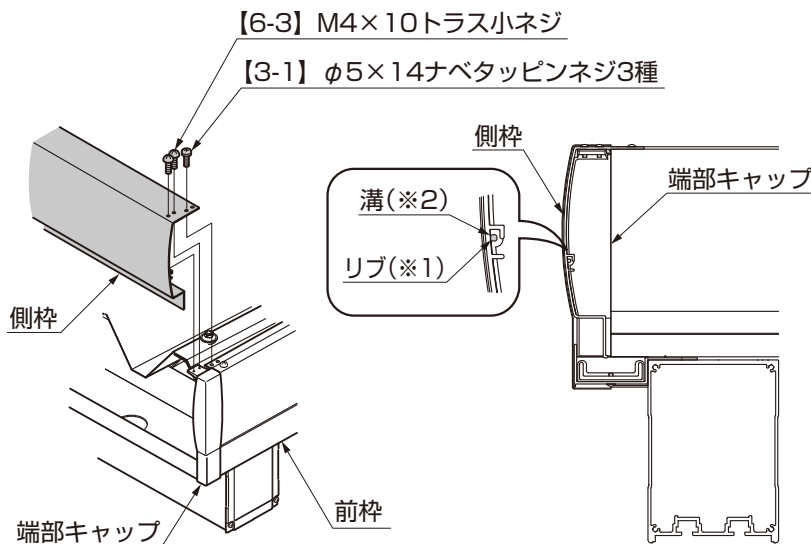


図9-3

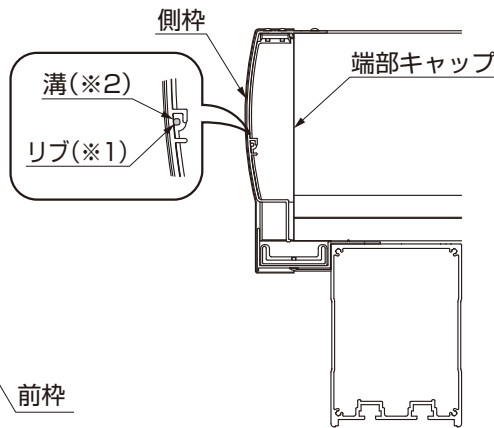


図9-4

## 1.基本箇所の取付け

- ① 側枠上、側枠下を側枠補強材と前枠に【3-1】で、端部キャップに【6-3】で取付けてください。

### ポイント

- 側枠下を側枠下補強材に取付ける場合は斜めからはめ込み、補強材のフィンが側枠の溝にはまるように取付けてください。(図9-5参照)
- 側枠を端部キャップにはめ込む際は、端部キャップのリブ(※1)が側枠の溝(※2)にはまるように取付けてください。(図9-4参照)

## 2.連結箇所の取付け

### ・水上側

- ① 側枠連結材を雨樋上に【6-1】で取付けてください。(図9-1参照)
- ② 側枠上を側枠連結材に【6-1】で、側枠補強材と前枠に【3-1】で、端部キャップに【6-3】で取付けてください。(図9-1、図9-3参照)

### ・水下側

- ① 側枠連結材を片側の側枠下に【6-1】で取付けてください。(図9-6参照)
- ② 側枠連結材を取付けた側枠下を側枠下補強材に【3-1】で取付けてください。(図9-6参照)
- ③ もう一方の側枠下を側枠下連結材に【6-1】で前枠と側枠下補強材に【3-1】、端部キャップに【6-3】で取付けてください。

### ポイント

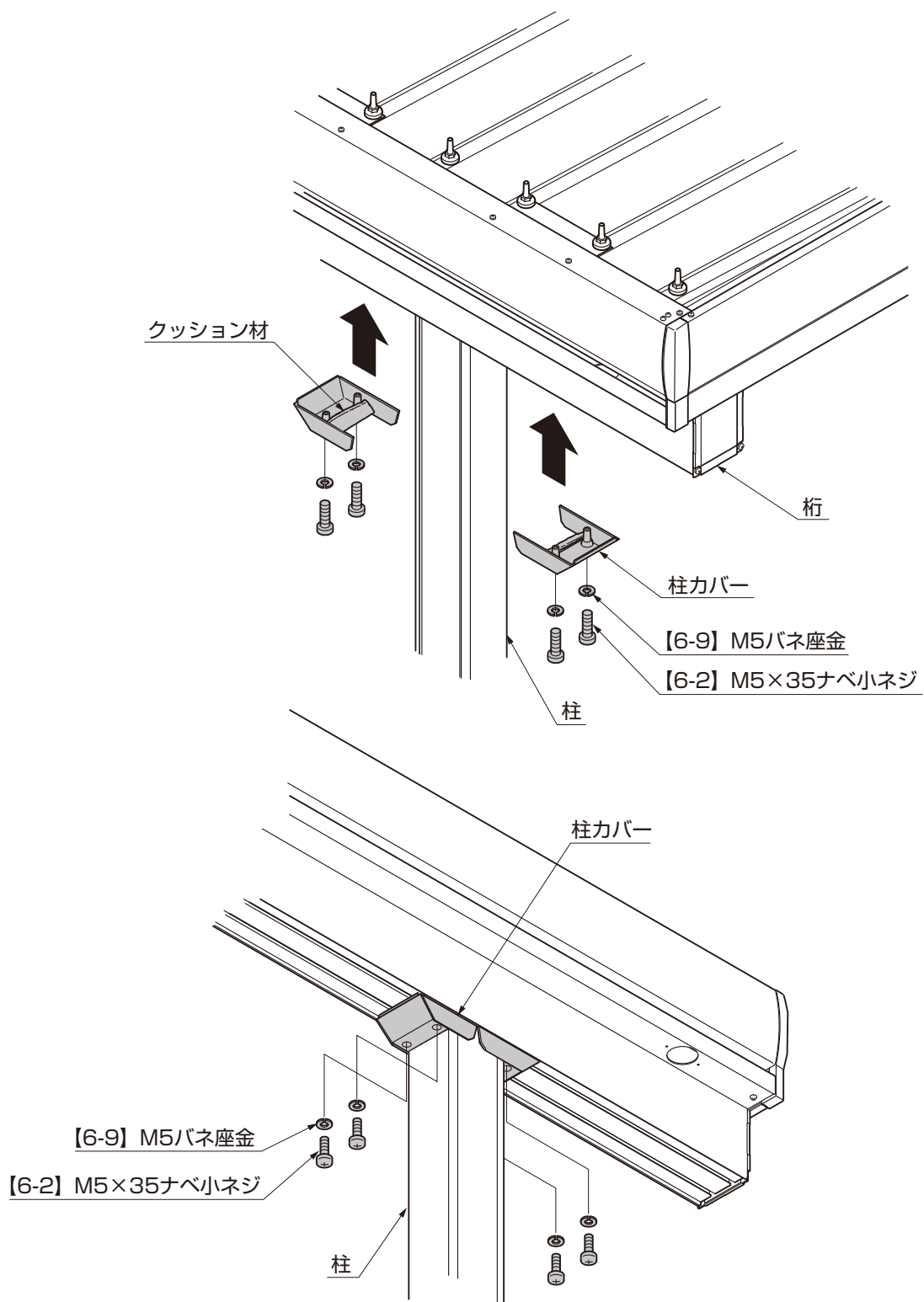
- 側枠を側枠連結材に取付ける場合は斜めからはめ込み、連結材のフィンが側枠の溝にはまるように取付けてください。(図9-2参照)
- 側枠上を端部キャップにはめ込む際は、端部キャップのリブ(※1)が側枠上の溝(※2)にはまるように取付けてください。(図9-4参照)

### 補足

- 水下側の側枠連結材の穴(※3)は使用しません。



### 13. 柱キャップの取付け



①桁に柱カバーを【6-2】、【6-9】で取付けてください。

#### ポイント

●取付後、柱カバーからクッション材がはみ出していないか確認してください。はみ出している場合は、軽くクッション材を押して、柱カバーの中に入れてください。

取説コード

**E253**

JZZ615325G  
200710A\_1039  
202312H\_1047